

Mizuho Daily Market Report

2023/10/4

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	149.78	149.02	▲0.84	▲0.05
EUR	1.0483	1.0467	▲0.0010	▲0.0105
AUD	0.6320	0.6302	▲0.0061	▲0.0095
SGD	1.3737	1.3731	+0.0001	+0.0042
CNY	7.2983	7.2980	+0.0000	▲0.0132
MYR	4.7248	4.7238	+0.0066	+0.0330
THB	37.06	37.04	+0.10	+0.67
IDR	15581	15580	+50	+90
PHP	56.81	56.80	+0.01	▲0.17
INR	83.20	83.21	+0.16	▲0.03
VND	24400	24393	+38	+8

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.796%	+11.7 bp	+26.0 bp
日本(10年)	0.767%	▲1.0 bp	+2.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.968%	+4.6 bp	+16.0 bp
オーストラリア(5年)	4.167%	+2.3 bp	+5.7 bp
シンガポール(5年)	3.340%	+0.5 bp	▲1.4 bp
中国(5年)	2.525%	+0.0 bp	▲1.5 bp
マレーシア(5年)	3.742%	+1.3 bp	+1.8 bp
タイ(5年)	2.842%	▲4.8 bp	▲3.9 bp
インドネシア(5年)	6.728%	+8.6 bp	+23.4 bp
フィリピン(5年)	6.183%	▲0.1 bp	+6.5 bp
インド(5年)	7.254%	+2.6 bp	+8.4 bp
ベトナム(5年)	1.920%	▲2.0 bp	▲6.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,002.38	▲1.3%	▲1.8%
N225(日本)	31,237.94	▲1.6%	▲3.3%
STOXX50(ユーロ圏)	4,095.59	▲1.0%	▲0.8%
ASX(オーストラリア)	4,043.72	▲0.7%	▲2.3%
FTSE(シンガポール)	3,192.35	▲0.5%	▲0.7%
SSEC(中国)	3,110.48	+0.0%	+0.3%
KLSE(マレーシア)	65,512.10	▲0.5%	▲0.7%
SETI(タイ)	6,940.89	▲0.3%	+0.2%
JKSE(インドネシア)	1,420.01	+0.1%	▲1.8%
PSE(フィリピン)	6,305.99	+0.0%	+0.7%
SENSEX(インド)	1,447.30	▲1.5%	▲3.1%
VNINDEX(ベトナム)	1,118.10	▲3.2%	▲1.7%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	281.49	▲0.4%	▲1.1%
金	1,823.02	▲0.3%	▲4.1%
原油(WTI)	89.23	+0.5%	▲1.3%
銅	7,929.00	▲0.6%	▲1.3%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	148.50	—	150.50
EUR/USD	1.0450	—	1.0550
AUD/USD	0.6330	—	0.6500
USD/SGD	1.3620	—	1.3740
USD/CNY	7.2900	—	7.3400
USD/INR	4.6890	—	4.7140
USD/THB	36.50	—	36.80
USD/IDR	15360	—	15400
USD/PHP	56.50	—	57.20
USD/INR	82.80	—	83.45
USD/VND	24,100	—	24,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円はドル円は149円台後半でオープン。アジア時間午前中は、日米金利差が方向感なく推移する中、ドル円も149円台後半でレンジ推移。午後には、RBAが市場予想通り政策金利据え置きが発表。イベント通過から豪国債が金利低下するとAUDUSD売りが一段と加速。他通貨からのドル買いの圧力が強まりドル円は小幅に上昇したが、150円を目前に為替介入への警戒感が根強く、小幅に戻しアジア時間オープンと同水準で海外時間へ渡った。アジア通貨は軟調に推移。米利上げの長期化が懸念される中、ドル買いが優勢となる中アジア通貨は対ドルで軟調に推移した。

海外時間のドル円は米州時間朝方に発表された米8月JOLT求人件数が予想を上回り、ドル買いが強まり、昨年10月以来の水準となる150円台前半を付ける。その直後、日銀による為替介入との噂に反応し、147円台まで急落するも、直ぐに149円台前半付近まで買い戻される。その後、本邦財務省の幹部が為替介入の有無について「ノーコメント」と発言する中、警戒感が続く展開となる。米州時間午後は米金利が上昇する動きを見せるも、ドル円は上値重たい展開が続き、149円台前半でクロース。

【金利】

米債市場は長期を中心に大幅上昇。10年債利回りは一時4.7%台に乗せ、2007年以來の高値となった。この週末に政府機関の閉鎖が回避されたことや、発表された9月ISM製造業景況指数で雇用、新規受注部門で強い数字が見られたことなどが売り材料となった。

【予想】

本日のドル円は堅調な推移を予想。150円付近では為替介入への警戒感も強く、海外時間には一時147円台までドル円が反落する局面も有ったが、その後は149円台まで値を戻しており根強い円売り意欲が感じられる。引き続き強いドルを背景にドル円は底堅く推移するものと予想。

【本日の予定】

(日本) 9月 複合PMI(確) / サービス業PMI(確)
(日本) 輪番 1-3y、3-5y、10-25y
(アジア) 9月 シンガポール PMI
(アジア) 9月 豪 PMサービス業(確)
(アジア) NZ 金融政策会合
(アジア) 休場 中国
(欧州) 8月 ユーロ圏 小売売上高 / PPI
(欧州) 9月 ユーロ圏 サービス業PMI(確)
(欧州) 9月 独 サービス業PMI(確)
(欧州) 9月 英 サービス業PMI(確) / 外貨準備高変化
(欧州) 独 国債入札(7Y)
(米国) 8月 製造業受注 / 耐久財受注(確)
(米国) 9月 ADP雇用統計
(米国) 9月 ISM非製造業景況指数
(米国) 9月 サービス業PMI(確)
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) ケルスビー・シカゴ連銀総裁講演
(米国) ホウマンFRB理事講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。